

公有林野官行造林法案委員會會議錄(速記)第二回

會議

大正九年七月十二日午前十時二十七分開議

出席委員左ノ如シ

- 中倉万次郎君 內山安兵衛君 長谷川宗治君
- 宇野 勇作君 伊藤 廣幾君 國重 政亮君
- 古林 與六君 安原仁兵衛君 菊川 惣吉君
- 波多野若石衛門君 齋藤宇一郎君 金田平兵衛君
- 中川幸太郎君 小菅劍之助君
- 出席國務大臣左ノ如シ
- 農商務大臣 山本 達雄君
- 出席政府委員左ノ如シ
- 農商務次官 田中 隆三君
- 農商務省山林局長 中井 勵作君
- 委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ
- 山林技師 石川寅之丞君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

公有林野官行造林法案

○委員長(中倉万次郎君) 是ヨリ公有林野官行造林法案ノ委員會ヲ開キマス、御諮リシマスカ先以テ一應此案ニ就テノ、當局者ノ御説明ヲ求メタイ思ヒマス

〔下ウカサウ願ヒマス〕ト呼フ者アリ

○田中政府委員 大體申上ゲマス、先日議場デ大臣ヨリ大要御話申上ゲタコト思ヒマス、要スルニ公有林ニ屬スルモノニシテ、將來造林ニ屬スルモノ、農商務省デ認メテ居リマスモノガ、約百万町歩アルノデアリマス、而シテ無論是等ノモノニ就テ造林ヲスルト云フコトニ就テ、今日迄農商務省ハ勿論、地方廳ニ於テモ色々勸誘ヲ試ミタコトモアリマス、又勸誘迄モナク殊ニ近年ニ至ッテ木材ガ大分値段モ騰貴シテ參ッテ居リマス、此事業モモウ少シ進ンデ續々ト造林ノ計畫ガ出來サウナモノデアリマス、如何セト御承知ノ通り、此仕事ガ一日モ早ク完成致シマセヌト、山嵐其他ノ事ノ爲メニ種々ノ災害ヲ起シマスヤウナコトガアリ、爲メニ直接今申上マシタ國家ノ費用ガ非常ニ殖エテ參リマス、其需要ニ應ズルト云フコトモ、國家デアリマスノデ、ドウカ一日モ早ク造林ノ目的ヲ達シタイ、只今申上ゲタ目的ノ遂行ニ於テ別ニ百万町歩ノ内、三十五万町歩バカリハ治水費ノ方ノ費用ヲ以テ、漸次造林ノ目的ヲ達スルト云フコトニナッテ居リマス、殘ル六十五万町歩バカリ

ノ内半分位ハ矢張公共團體、自己ノカニ依テ造林ノ目的ヲ漸次達シテ行ク、其半分位ハドウシテモ國家ノカヲ貸シテ町村ト、所謂利益ヲ分收ノ目的ヲ以テ造林致シタイ、斯ウ云フ大體計畫ノ下ニ本案ヲ立テマシタ、故ニ直接國家ガ費用ヲ投ジテ之ヲ造林スル以上ハ、其投ジタケノ費用ハ勿論又ソレヨリ生ズル所ノ利益ヲ全然町村ニ與ヘテシマウト云フ譯ニイカヌデアリマス、凡ソ其損益——損益ト云フヨリ寧ロ利益ヲ雙方ニ分ツト云フヤウナ、大體方針デヤテ費用ハ國家ガ投ジマスケレドモ、其費用ヲ辨償シテ剩ッテ實際舉ゲルベキ利益ヲ、町村ト國家相共ニ分ツト云フ位ノ大體方針ヲ以テ、本案ノ目的遂行致シタイト云フノガ、當面ノ目的デアリマス、併ナガラ所謂場所ノ便ト造林ニ就テノ範圍、色々ノ關係モアリマスカ、必ズ定メテ形ノ下ニ町村ト約束スル譯ニイカヌ事情モアラウト思ヒマス、大體雙方分收ト云フ目的デ、後トハ其事情ニ依ッテ多少ノ増減ヲシナケレバナラヌコトニナラウト思ヒマス、其實際ノ場所ノ模様ニ依ッテ能ク町村トノ間ニ了解ヲ遂ゲテ、サウシテ國家ガ此ノ造林ノ計畫ヲ立テテ行キタイト云フ目的デ、此法案ハ出來テ居ルノデアリマス、尙ホ細カイ事ニナリマシテハ御質問ガゴザイマスレバ、ソレニ應ジテ御答ヲシタ方ガ便宜ダト思ヒマス

○齋藤宇一郎君 本案ハ第四十二議會ニ於テ細カニ論議サレテ居ルノデアリマス、其當時ノ事ヲ考ヘテ見マス、多クノ議論ノ中デ國有林ノ統一整理ト云フヤウナ事ニ就テ餘程面倒ナ問題デアリシテ、色々御心配ニナッテ議論セラレタ方ガ多クヤウデアリマス、本案ハソレヲ統一シテ利用區分ニ就テ、段々ト實行シテ行クト云フヤウナ意味ノ御説明デアッタヤウニ記憶致シマス、是等ニ就テハ餘程農商務省ガ内務省ト交渉ヲシテ、統一ヲ圓滿ナラシメ、又其林野ノ所有者ガ實ニ是ノ必要ナルモノデアルト云フコトヲ徹底的ニ理解シテ、進ンデ共ニカフ合スト云フコトヲ徹底的ニノデアリマス、唯ダ出來タ所ニ依ッテヤルト云フ事ダケデハ餘計其處ニ圓滿ヲ缺クダラウト思フ、何トナレバ今日中央ナドニ報告ニナッテ居リマス統一ノ付イタト云フ村ハ、表ハ付テ居ルカ知リマセヌガ裏面ニハ色々紛擾ガアッテ、所謂臭イ物ニ蓋シタヤウナ報告ガ出テ居ルモノモ尠クハナイト思フ、ソレ等ニ就テドウ云フ調査セラレタモノデアルカ、已三前回ニ於テサウ云フ議論ガ出タトスレバ、必ズ調査ニナッテ居ルコト、信ジマス、尙ホ農商務省ノ所管ニ依ッテ言ヒマ

シテモ、公有材野ノ利用區分、即チ林地トシテ造林シテ適當ナル處、即チ差支ナキ處、或ハ農業用地トシテ所謂肥料原料、畜産ノ飼料、是等ノ採ラナケレバナラヌ場所ノ區分等ニ就テ中ニ地方ニ就テムツカシイ問題トシテ居ルノデアリマス、殊ニ肥料問題ニ關シマシテハ、一時ハ農商務省アタリデモ金肥ヲ多ク使フコトガ農業ノ進歩デアルト云フヤウナ解釋ヲシテ、餘リ天然肥料ノ方ニ重キヲ置カナカク時代モアッタノデアリマス、ケレドモ段々長イ間ヤッテ見マス、金肥デハ地力ヲ維持スルコトガ出來ナイ、ドウシテモ有機肥料、即チ天然肥料、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ野草ヲ原料トシ、動物排泄物ヲ以テ造ル所ノ堆肥、之ヲ基本肥料トシナケレバ米麥作完全ニ行カナイト云フコトヲ、能ク理解シタ爲メニ、此頃デハ天然肥料ノ獎勵ヲシナケレバナラヌト云フノデ、今ヤ農商務省デ獎勵シツ、アルノデアリマス、ソレ等トノ關係等モ能ク調ヘナケレバナラヌノデアリマス、ソレ等ノ點ニ就テモ餘程前回ニ於テヤカマシイ議論デアッタノデアリマス、ソレ等ニ就テ再ビ之ヲ提案セラル、マデノ間ニ、何カ新シイ調査ガ出來タ、或ハ内務省トノ交渉上云々ト云フヤウナ材料ガアリマスレバ、ソレヲ提供セラレ、且説明セラレレンコトヲ望ミマス

○中井政府委員 私ヨリ只今ノ御尋ニ對シテ御答申上ケマス、造林ヲ致シマス林野ニ就キマシテハ、只今御話ノ如ク部落有林野ノ統一ヲ致シマストカ、又ハ入會ノ整理ヲ致シマストカ云フ事ニ就キマシテハ、圓滿ニ行ハレマスヤウニ努メテ居リマス積リデゴザイマス、此目前ノ會議ノ際ニ種々御質問ノ次第モゴザイマス、其後山林局ニ於キマシテハ各地方ノ狀況ヲ觀察致シマシテ、又部落有林野ノ統一デゴザイマストカ、入會ノ整理等ニ就キマシテ、本省ノ趣旨ガ、能ク徹リマスヤウニ委ク實狀等ヲ觀察致シマシテ、尙ホ處理スベキ事ガアレバ處理致シマス積リデ、ソレノ監督員ヲ任命致シマシテ、各地方ニ派遣致シマシテ、調査致シテ居ルノデアリマス、ソレハ今尙ホ續ケテ居リマシテ、其結果ト致シマシテ、此ニ取立テ申上ゲルコトハゴザイマセヌガ、大體ニ於キマシテ能ク政府ノ趣旨ノ徹底ヲスルヤウニ、努メテ居ルノデアリマス、尙ホ此綠肥採收等ノ事ニ就キマシテハ、御話ノ通りドウシテモ或程度ノ綠肥ヲ要スルノデアリマス、ソレニ就キマシテハ管理區分ヲ致シマス際ニモ、亦國有林ノ下草等ヲ採收致シマス事ニ就キマシテモ、相當意ヲ用キテ居ル次第デゴザイマス、尙ホ此全体ノ統一整理ノ方針ニ就キマシテハ、御承知ノ通り明治四十三

シテモ、公有材野ノ利用區分、即チ林地トシテ造林シテ適當ナル處、即チ差支ナキ處、或ハ農業用地トシテ所謂肥料原料、畜産ノ飼料、是等ノ採ラナケレバナラヌ場所ノ區分等ニ就テ中ニ地方ニ就テムツカシイ問題トシテ居ルノデアリマス、殊ニ肥料問題ニ關シマシテハ、一時ハ農商務省アタリデモ金肥ヲ多ク使フコトガ農業ノ進歩デアルト云フヤウナ解釋ヲシテ、餘リ天然肥料ノ方ニ重キヲ置カナカク時代モアッタノデアリマス、ケレドモ段々長イ間ヤッテ見マス、金肥デハ地力ヲ維持スルコトガ出來ナイ、ドウシテモ有機肥料、即チ天然肥料、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ野草ヲ原料トシ、動物排泄物ヲ以テ造ル所ノ堆肥、之ヲ基本肥料トシナケレバ米麥作完全ニ行カナイト云フコトヲ、能ク理解シタ爲メニ、此頃デハ天然肥料ノ獎勵ヲシナケレバナラヌト云フノデ、今ヤ農商務省デ獎勵シツ、アルノデアリマス、ソレ等トノ關係等モ能ク調ヘナケレバナラヌノデアリマス、ソレ等ノ點ニ就テモ餘程前回ニ於テヤカマシイ議論デアッタノデアリマス、ソレ等ニ就テ再ビ之ヲ提案セラル、マデノ間ニ、何カ新シイ調査ガ出來タ、或ハ内務省トノ交渉上云々ト云フヤウナ材料ガアリマスレバ、ソレヲ提供セラレ、且説明セラレレンコトヲ望ミマス

年ニ内務農商務次官カラ、各地方長官ニ申達致シマシテ、其後追々努メテ居ルノデゴザイマスガ、或處ニ於テハソレガ極端ニ行過ギテ、處ニ依ッテハ強要スルト云フヤウナ事ニナリマシテハ、穩當デナイ次第デゴザイマスカラ、多少ソレヲ緩マデ分轄ヲ致シマシテ、統一ニ致シマスノニモ、或ル程度緩和致シマシテ、大体圓滿ニ行ハレマスヤウニ各府縣ノ主任ノ官吏ノ集マリマシタ際ニモ、協議致シマスシ、又先刻申上ゲマシタ山林局ヨリ監督ノ爲メニ出張シマス者ガ實地ニ臨ミマシテ、縣當局ト協議ヲ致シマス際ニモ、其邊ノ所ヲ十分政府ノ趣旨ノ徹リマシヤウニ、努メテ居リマス次第デゴザイマス

○伊藤廣幾君 私モ御尋致シタイト思ヒマスガ、此公有林ノ官行造林ト云フコトヲ御計畫ナサレマス御趣旨ハ、此町村ナルモノハ、絕對ニ自力デハ出來ナイモノデアルト云フヤウナコトカラ、此御計畫ヲ立テマシタノデゴザイマスガ、大体ヲ申シマスレバ公有林ガ、町村ノ所有ニナリマスルカラ、町村自分之ヲ經營スルト云フコトハ、當然デアアルヤウニ思ハレマス、併ナガラ之ヲ今官行造林ヲシナケレバナラナイト致シマスレバ、其ノ計畫ノ趣旨ハ町村ヲ保護スル意味カラ計畫ヲセラレテ居ルノデアリマスガ、或ハ又此公有林ノ上、或シテ置クト云フコトハ、國ノ經濟ノ上、或ハ國ノ體面ノ上、或ハ又植林ト云フ單純ナ事柄ノ必要ニ上、ヨリ御計畫ヲナサレテ居ルノデアリマスガ、是ハ官ニ於テ直接經營スルト云フ、御計畫ヲ立テラレタコトハ、何カ其邊ニ御趣旨ガナケレバナラナイト思ヒマス、恰モ開懇ニ對シテハ開懇助成法ト云フモ、ノガアリマスガ、斯ノ如キ公有林ヲ經營スルニ於テハ、官行トセズトモ、或ハ間接ノ保護獎勵ニテ爲シ得ルコトモアラウカト思ヒマス、又國有林ノ一方ヲ見マスルト、國有林ニモ尙ホ立木ノ無イ國有林ガアルヤウニ思ヒマス、ソレハ約二十

六方町歩程アルヤウニ記憶シテ居リマスガ、國有林ソレ自身ガ既ニ立木ガ無クテ困テ居ル際ニ、ソレヲ經營ヲ爲スベキモノヲ捨テ、町村ノ有テ居ル所ノ公有林ニ、多大ノ費用ヲ掛ケテ經營スルト云フコトハ、土臺町村ノ基本財産ヲ造成スル意味ニ於テ、國家ガ補助シナケレバナラヌ趣意カラ出テ居ルノデアリマスガ、又國家的ニ之ヲ經營シナケレバナラヌ、他ノ理由ガアルノデアリマスガ、第一根本ノ御計畫ノ御趣旨ヲ承リタイト思ヒマス

○田中政府委員 御答ヲ致シマスガ、此契約ハ政府ハ強制スル譯デナイノデ、町村ノ希望ニ依ッテ町村ト政府ト全クノ約束デ出來ルノデアリマシテ、町村ガソレヲ好マナケレバ如何トモ致シ方ナイノデアリマス、ソレカラ町村ニシテ資本ガ十分デアレバ、無論町村自ら爲スベキ順序デアリ、又其

方ガ便宜デアラウト思ヒマス、少クとも契約ニ基イテ利益ヲ兩方ニ分ツ譯デアリマスカラ、假ニ町村ガ自ラスレバ分タナイデ、利益ヲ皆自分ガ取レル譯デアリマス、ツマリ資力一町村ノ負擔ト云フモノガ近年隨分多岐ニ涉ッテ居リマスノデ、植林ヲシタイト云フ希望ガアツテモ、手ガソレニ伸ビヌト云フヤウナ狀況アリマス故ニ、政府ハ幸ニ植林ノ事ニ就テ大分大キナ機關ヲ見ヘテ居テ、政府ノ手デヤツ方ガ雙方ノ便宜デアラウト云フコトカラ出タノデアリマス、ソレカラ政府ノ自身ノモノデアサヘモ、大分マダ植林スベキ場處ガ殘ッテ居ルデヤナイカト云フ御話モ御尤モアリマスガ、今日デモ植林シ得ベキ處ハ餘計無イサウデアリマス、約一万町歩位デアリマス、尤モ植林スル場處其モノヲ見マス、隨分澤山デアリマスガ、ソレハ先程齋藤君カラモ御話ガアリマシヤウニ、肥料ナドノ關係ニ於テ綠肥等ノ關係ニ於テ、政府ガ植林シタクツテモ、町村ノ關係デ出來ナイ處ガアル、ソレ等モ出來ルタケ町村ノ利益ノ爲メニ尊重シナケレバナラヌノデアリマス、サウ云フ事情ヲ斟酌シテ今後植林スベキ處ハ餘計無イノデ、ソレモ亦著々計畫ヲ立テ、此方ハ皆目的ヲ達スル譯ニナッテ居リマス、近キ將來ニ於テソレデアリマスカラ此際一番餘計殘ッテ居テ、國土ノ保安上カラモ、亦國土ノ利用ノ上カラモ、此次ニ一番著手シナケレバナラヌ處ハ、所謂公共團體ニ屬スル植林デアラウト、斯ウ云フ事ニ目ヲ着ケテ、其方ニ手ヲ伸バサウト云フコトニナツ譯デアリマス

○伊藤廣幾君 尙モ御尋致シマス、一方ニ於キマシテ公有林ト云フモノニ對シテ、國家ガ多額ノ費用ヲ投ジテ造林計畫ヲ立テ、斯ウ云フコトハ、大体ニ於テ結構ナコト、思ヒマスガ、然ルニ事實ニ於テ明治三十二年カラ大正四年ニ至ル間ニ於テ、不在存置林ヲ大分拂下ゲテ居リマスガ、其不在存置林ヲ拂下ゲマシタノハ、色々ノ種類モアリマスケレドモ、町村ノ基本財産トシテ拂下ゲタノモ、大分有ルヤウデアリマス、十餘万町以上アルヤウデアリマスガ、サスレバ國家ガ町村ノ基本財産トシテ國有林ノ一方ヲ拂下ゲテ居ルト云フ事カラ考ヘスレバ、町村ソレ自身既ニ公有林ニ對シマシテ、經營餘力ガ有ルト云フコトモ、一面ニ於テハ御認メニナツテ、撥下ルコトヲ考ヘ起ル、又一方ニ於テハ、國家ガ既ニ町村林ニマデカク仲バサナケレバナラヌ、ト云フ必要ガアレバ、其基本財産トシテ拂下ゲルト云フコトハ、是ハ公有林ヲ整理スルト云フコトヲ、按ズル上カラ申シマスレバ、矛盾デハナイカト云フ考モ起ルノデアリマスガ、是等ノ一方ニ於テハ、拂下ノ制度ヲ實行シ、一方ニ於テハ世話ヲシテ整理ヲサナケレバナラヌト、斯ウ云フヤウナコトニ今度ハナルノデアリマスガ、是等ノ關係ト將來如何ニナルノデアリマセウカ、即

チ國有林ハ將來ハ町村ノ基本財産トシテ御拂下ニナラナイト云フ、御見込デアリマセウカ、即チ町村ニ於テ公有林ノ整理ガ終ラナケレバ、將來ハ國有林ト云フモノ、拂下ノ御中止ニナルト云フ御見込デアリマセウカ、尙ホモ一ツ御尋致シタイトハ、公有林ノ中ニハ町村自身ノ管理經營ヲシテ居リマスル所ノ、即チ町村自身ノ所有ト云フモノト、部落ノ所有ノモノトアラウト思ヒマスガ、其部落所有林モ町村直接ノ所有林モ、同ジ制度ノ下ニ官行造林ヲスルト云フ計畫デアリマセウカ、ソレモ承リタイ、尙ホ先刻資力ガ乏シイ町村ヲ保護スル御趣旨カト御尋致シマシタノハ、案ノ内容ヲ詳ニ見マスルト洵ニ町村トシテハ都合ガ好イト思ヒマス、或ル年限ニ達スレバ收益ハ自カラ五分々デアリマスカラ、二分ノ一ノ收益ヲ得ラル、ト云フコトニナリマスカラ、町村ノ側カラ見レバ、極メテ有利ノ事ノヤウニ思ハレマス、有利ナ仕事デアリマスカラ、何レノ町村ニ於キマシテモ公有林ヲ有テ居ルモノハ、此計畫ヲ請求スルヤウニナルト思ヒマス、ソレデアリマスガ、此計畫ヲ請求スルヤウニナルト云フコトヲ立脚トシテ、御計畫ニナッテ居ルノデハナイカト云フコトヲ、御尋致シタノデアリマスガ、サウ云フ意味デハナイ、國家ノ必要上カラト云フ御答デアリマスガ、私共ガ内容ヲ見マスレバ、サウ云フ考ヲ起シマスガ、町村ヲ保護スルト云フヤウナ意味モ含ンデ居リマセウカト云フコトヲ重テ御尋致シマス

○田中政府委員 御答致シマスガ、前段ノ御尋ニ不要存置林トシテ國有林ヲ拂下ゲルト云フ、御尋ガゴザイマシタガ、是ハ一寸目的ガ違ヒマスノデ、國有林ヲ町村其他ノモノニ拂下ゲルト云フノガ、實ハ目的デハナイノデ、國有林ガ今日マデ放レト、處ニ點ニ點ニシテ居ル處ガ澤山デアリマスノデ、國有林トシテ國家ガ統一スルノニハ、連續シタ處デアリマセスト、徒ニ取締ナリ、其他ノ經費ガ餘計ニ掛ルダケデ、却テ面白クナイカラ、成ルベク大キク塊々處々ケテ國有林トシテ統一ヲスル今ノ點々トシテ居ル處ハ、其町村ナリ、其他ノ然ルベキ人ニ拂下ゲテ、其部分ノ出來得ルダケノ利益ヲ舉ゲルヤウニシタ方ガ、國家ノ爲メニモ却テ都合ガ好イト云フ意味デアラウト云フコトハ、國有林ヲ町村ノ爲メニ拂下ゲルト云フヤウナ目的ノ拂下ハ、今日マデノ不在存置林ノ拂下ノ意味ニハナイモノト、御承知ヲ願ヒマス、併ナガラ山林ノ事ニ就キマシテハ、成ルベク其屬スル町村ニソレヲ利用セシムルト云フコトハ、必要ナルモノト認メテ居リマスカラ、町村ニ就テハ外ノ希望者ヨリモ、種々ナル便宜ヲ以テ優先權ノヤウナ形デ、拂下ラスルト決シタ以上ハ、ソレヲ拂下ゲルコトニ就テノ便宜ヲ與ヘテ居ル譯デアリマス、ソレカラ今度ノ目的ハ根本トシテハ、先程申上ゲタヤウナ譯デアリマスガ、言葉ガ不足デアリマシタノデ、結局御質問モ出タコト、

思ヒマスガ、無論此方法ニ依テ植林ヲスルト云フコトハ町
村ノ保護ニナル、詰リ基本財産ト云フヤウナモノガ殖エテ
來ル、町村ノ財產狀態ヲ十分ニ裕ナラシメルト云フ目的ニモ
副フト云フコトハ、政府ニ於テ無論認メテ居ル譯デアリマス
サウ云フ意味ヲモ無論兼テ居ルノデアリマス、此點モ御
承知置テ願ヒマス、ソレカラモウ一ツノ公共團體ノ所有ト
云フ中ニハ、町村自體ノモノモアリ、町村ノ一部分ノ部落
ノモノモアルノデゴザイマス、此法律ノ上カラ申シマスレバ
部落ノ所有ハ部落ト國家トノ相讓テ植林スルコトモ出來
ル譯デアリマス、併ナカラ成ルベク此際ニサウ云フ場所ニ就
テハ、町村ノモノトシテ、町村ト國家ト約束スルト云フヤ
ウニ、ナツタ方方便宜デアラウ、町村モサウ云フヤウナ部落ト
何カノ協定ヲシテ、町村ノモノニ移スト云フ方が、整理上都
合ガ好クハナカラウカト云フ心持ヲ有テ居リマス、併ナカラ
ソレハ必要條件デゴザイマセヌカラ、部落ト直接ニモ出來得
ル譯デアリマス

○伊藤廣幾君 町村林ト、部落林トノ町歩ノ割合ハ、

○中井政府委員 只今ノ御尋ノ割合ハ、百万町歩ノ
中——一寸其前ニ申上ゲマスガ、此百万町歩ト申シマスノ
ハ、所謂公有林野ノ其ノ立木ノ狀態ニアリマスノハ、全體デ
二百万町歩デアリマス、其ノ中ニ從來ノ經驗カラ申シマシ
テ、森林ト爲スベキ、植林ヲ爲スベキ土地ガ約半分デ、百万
町歩ト云フ見込ヲ立テタノデゴザイマスガ、其無立木地ノ
二百万町歩ノ中デ町村有ニ現在ナツテ居リマスノガ七十
三万町歩、部落有ニナツテ居リマスノガ、百二十五万町歩
ト云フコトニナツテ居ルノデゴザイマス

○伊藤廣幾君 入會ト云フコトハ、昔カラノ習慣上カラ生
ジテ居ルコト、思ヒマスガ、入會權ト云フ名ヲ附ケテ居ルヤ
ウデアリマスガ、此入會權ト云フモノハ、官行造林ヲスル場
合ニ於キマシテハ、如何ニ之ヲ御取扱ナサレバ御見込デゴザイ
マセウカ、所謂綠肥製造ノ爲メニ草ヲ刈ルトカ薪炭用トシ
テ小柴ヲ採ルトカ云フコトヲ認メテ居リマスガ、官行造林ヲ
スル爲メニハ之ヲ如何ニカ處理シナケレバナラヌト思ヒマス
ガ、ソレ等ノ御計畫、或ハ御考ハ如何ナルモノデアリマセウカ
○中井政府委員 只今御尋ニナリマシタ入會ノ慣行ノア
ル處ニ就テ官行造林ヲ、爲ス場合ニハ、ドウスルカト云フコ
トデゴザイマスガ、先刻齋藤サンカラモ御尋ニナリマシタ、入
會整理ト云フコトニ就キマシテハ、ソレノ之ヲ適當ニ整理
スルト云フ方針ヲ以テ進メテ居ルノデゴザイマスガ、尙ホ一
面土地ノ管理區分ト云フコトヲ致シマシテ、ソレデ、從來無
立木ノ狀態ニアリマシテ、其中デ株ヲ採テ居リマストカ、或
ハ放牧ヲ致シテ居ルトカ云フコトデ、他ノ産業トノ關係上
全部森林ト爲スコトノ出來ナイ狀態ニアリマス處モ尠クナ

イノデゴザイマスカラ、左様ナ處ニ於キマシテハ、耕地ノ關係
デゴザイマストカ、或ハ牛馬ノ關係等ヲ見マシテ、ソレノ放
牧ナリ採草ノ爲メニ必要ナル部分ハ、矢張、現狀トシテ置キ
マシテ、森林トシテ經營スルノガ適當デアルト認メマシタモ
ノヲ、森林地ト云フコトニ整理致シマシテ、ソレノ區分ヲ
立テ、居ルノデゴザイマスガ、斯様ニシテ、整理サレ、區分
サレテ、造林スルコトガ差支ナイト云フコトニナリマシタ時
ニ、此法律ニ依ル官行造林ヲ致ス計畫ヲ爲スコトニナツテ居
ルノデゴザイマス

○伊藤廣幾君 尙ホ御尋シタイノデマスガ、此中ニ投資ノ
利廻リト書イテゴザイマスガ、國ト市町村トノ投資ノ割合ガ
大略五分々々ナルコトニナツテ居リマスガ、此五分ト云フノ
ハ何所カラ割出シタノデアリマスガ、前ノ方ヲ見ルト此市町
村ガ一千二百万圓 出資スルト云フコトハ、農務局長モ説
明ニナツテ居リマス、國家ガ約四千五百万圓 支出スルノニ
五分々々ノ利廻リト云フコトガ書イテアルヤウデアリマスガ、
此割合ノ基礎ハドウ云フ所ニアリマスガ、御説明ヲ願ヒタ
イト思ヒマス

○中井政府委員 其計算ノ基礎ハ、公共團體ノ出資ト見
マシテ、計算致シマシタモノ、中ニハ、地價ト、ソレカラ地租
ト、其他ノ公租ト、ソレカラ何レ契約致シマシテ造林シタ後
ニ於テハ、火災、盜伐等ノ保護ヲ致シマスル爲メニ、監視人
ヲ設ケマシテ見廻ラシマスノデ、サウ云フ保護費ト云フモノ
モ見テ居リマス、ソレデ五分々々トナリマス、多額ノ負擔ヲ
致スヤウデゴザイマスガ、詰リ地代ハ、出資致シマスルモノト
計算致シマシテ、ソレデ實際ニ支出ヲ致シマスルモノハ、從
前ノ通りノ公租ト、ソレカラ極ク少額ノ公租ニ監視人ヲ設
置致ス計畫ノ費用ダケデゴザイマス、ソレデ收利ノ計算ノ
末期ニ到達致シマスルト、其計算ガ略、投資ノ割合ガ、造
林費等ニ投ジマシタルモノト同ジヤウナ割合ニナリマス

○伊藤廣幾君 細カイ計算ノ基礎ハアリマセヌカ

○中井政府委員 ゴザイマス

○古林與六君 參考書ニ推定ノ面積府縣別ガ書イテゴ
ザイマスガ、獻納地等ハ縣々等ノ内譯ガナケレバナラヌト思
ヒマス

○中井政府委員 只今内譯ハ調ベテ居リマスカラ、後トデ
申上ゲマス、尙ホ只今ノ御尋ノ各府縣ノ内譯ハ、此計畫ヲ
致シマスル際ニ、各府縣ノ林業ノ主任技師ヲ農商務省ニ會
同ヲ求メマシテ、種々協議致シマシタ上ニ、此計畫ヲ立テタ
ノデゴザイマスガ、其際ニ其見込ヲ聽キマシテ、斯ウ云フ計
畫ヲ立テマシテ實行スル際ニハ、差當リ造林ヲ致シマス土
地ハ、然ラバ果シテ各府縣ニ下ノ位宛此法案ノ實行ニ對シ
テ、契約ヲ爲シテ宜イ土地ガアルカドウカト云フコトニ就キ

マシテハ、其後追々調査ヲ致シマシテ、又先般前議會後各
府縣ノ主任技師ヲ會同致シマシタ際ニ、ソレノ協議ヲ致
シマシタガ、マダ其内容ヲ申上ゲル程ニ、確リ分シテ居リマ
セヌ、併シ各府縣トモ相當ニアル見込デゴザイマス

○伊藤廣幾君 此收入ノ總額ハ二千五百幾ラト云フコ
トニナツテ居リマスガ、是其二期以後ニ生ズル漠然タル説
明ヲ此所ニ書イテアルマスガ、全體ニ植樹シタモノヲ、二期
後ニ一遍ニ賣テシマフト云フコトデアリマスガ

○中井政府委員 御答致シマスガ、此計畫ノ計算ニ二期
トゴザイマスノハ、先刻申上ゲマシタガ、三十三万町歩ヲ十五
箇年間ニ造林致シマシテ、ソレガ們ノ如キニ至リマシテハ、造
林後三十年許リ經テマシタ伐採出來マス、ソレカラ檜デゴ
ザイマスト、七八十年トカ、或ハ百年トカ云フヤウナコトニナ
リマシテ、ソレノ各々契約後相當期間經テマシテ、末期ニ
達スレバソレヲ伐採致シマシテ、ソレヲ集メマシテ是ダケノ
數字ニナルノデゴザイマスガ、其時ニ一度ニ伐採スル積リデ
ハナイノデゴザイマス、ソレノ契約ニ從ヒマシテ伐採シタモ
ノヲ、便宜上第二期ノ終リニ於テ總計スルト、是ダケニナル
ト云フ計算デゴザイマス

○伊藤廣幾君 尙ホ重ネテ御尋致シマスガ、サウスルト此
町歩ニ對シテドレ程ノ收入ニナルト云フ御計算ガ立テ居
リマスガ、面積カラ申シマス、例ヘバ今、日本ノ公有林ノ收
入ト云フモノハ、約一町歩ニ對シテ最近デゴザイマセヌケレ
ドモ、二千乃至三千圓位ノ收入ガ統計ニ現レテ居リマスガ、
公有林ハ洵ク少ナキ收入ニナツテ居リマス、ソレデ町村有林
ニナレバ面積カラ言フドレ程ノ、凡ソノ收入ノ御計算ニナ
テ居ルカ唯ダ之ヲ三十三万町歩割テ見レバ宜イカ、年度
割ノヲ計算シタトスレバ、年度毎ノ收入ガ其所ニ現ハレテ
居ルカ、其御計算ガナイノデアリマセウカ

○中井政府委員 先刻此計算ノ基礎ニ就テノ御尋デ申
上ゲマシタガ、是ハ全体デゴザイマス、總支出ノ二千六百万
圓餘ノ内ガ、先刻申上ゲマシタ市町村デハ、保護費、地代、
公租、國デハ管理費、造林費又道路、土木費等ヲ必要ト
致シマスガ、此内譯ガ調ベテゴザイマスガ、國ノ出資ガ管理
費デ三千三百六十七万圓、ソレカラ造林費デ四千五百八
十萬圓、土木費百四十九萬圓、計八千八萬圓、ソレカラ市町
村ノ負擔ハ地代一億六千五百六十六萬圓、保護費及公
租千五百二十二萬、此數字ヲ基礎ニシテ全體ノ數字ヲ見
積シテアルノデゴザイマス、ソレカラ只今ノ一町歩デドノ位ノ
收入ノ見込カト云フコトハ、一寸計算ヲシテ居リマセヌカラ
後程申上ゲマス

○伊藤廣幾君 今ノ御答ニ依リマス、前ノ五分々々ト云
フ御説明ト、一寸合ハヌヤウデアリマスガ……

○中井政府委員 只今申上デマシタ數字ハ、毎年支出致シマス額ダケヲ計上致シマシタ數字デアリマシテ、之ニ利率ヲ乗ジテ丁度伐期ニナリテ收入致シマス時ノモノヲ全部集メマスト其數字ノ後價ガ略五分々々ニナルデアリマス

○田中政府委員 今大變混雜ナ御話ヲシマシタガ、斯ウ云フ譯デス、政府ノ方ノ支出スルノハ十五年間ニ大部分使テシマウ、ソレカラ公共團體ノ方ハ八十年九十年ノ間ニ僅カ宛長イ年限ノ間ニ、地租ヤ何カラ納メテ行ク、ソレデアリマスカラ、此カラ使テタ元金ダケハ町村ノ方ガ多イ、併シソレニ五分五厘ノ利率ヲ積リマシテ、ソコデ結局ノ伐採期ニ至ッテ雙方トモ、同ジダケノ負擔ニナルト云フ譯デアリマス

○齋藤宇一郎君 只今ノ御計算ハ「造林要旨」ト云フモノニ市町村ノ支出トシテ市町村ハ土地ノ外保護費及諸税金ヲ支出スルモノナルモ副産物及撫育間伐材ノ無料採取ヲ爲スヲ以テ之ヲ差引クトキハ現金支出總額ハ一千五百二十二万四千圓ナリトアリマス今ノ最後ノ計算ニ於テ支出ガ、國モ市町村モ五分々々ニナルト云フ其計畫ハ、副産物及撫育間伐材ノ無料採取ヲ引イテ御計算ニナリテデアリマスカ、ソレヲ引カナイテ支出金額ニ對スル全部ノ重利計算ニ依テ、五分々々ニナルデアリマス

○田中政府委員 尙ホ委シイ事ハ政府委員デアリマセヌガ、他ノ主任者ヲシテ説明セシムルコトノ御許可ヲ願ヒタウゾザイマス

○委員長(中倉万次郎君) 宜シウゾザイマス

○石川山林技師 一寸計算ノ仕方ヲ申上デマス、収支計算ノ五分々々ニナルノハ、ドウカト云フ御尋デアリマシタ、是ハ前ニ申上デマシタヤウニ、國ノ支出額ハ最初十五箇年ヲ一期トシ、後八十七年ヲ二期以後トシテ置キマシテ、通計百二箇年ノ計畫ニナリテ居リマスガ、造林ハ當初ノ十五年間ソクヤテシマヒマス、ソレ後ハ僅ニ管理利息ト云フヤウナモノガ殘ルダケデアリマス、市町村ノ方ハ其十幾年ノ間利子ダケヲ提供シテ居ル、ソレ後僅ニヤウナモノハ早く伐採ガ出來マスケレドモ、大部分ハ造林後大變永ク殘リマスソレデ地代ヲ計算シマス、其地代ト云フモノガ非常ニ多額ニ上リマス、隨テ國ノ支出額ハ總計デ八千九百六十六万六千圓トナリマスガ、市町村ノ方ハ終ヒマデ一億八千八百九十九萬一千圓ト云フコトニナリマス、ソコデ出シ方ガ非常ニ多イデヤナイカト云フコトデゴザイマスガ、此出シタモノヲ唯タ累計シタダケデハ、出資ノ歩合ト云フモノハ出ナイヤウデゴザイマスカラ、之ヲ重利計算ニシマシテ、各樹種ニ依ッテ伐期ガ違ヒマスカラ其ノ樹種ノ植エテカラ終ヒマデ一ツノ經濟期間ト看做シマシテ、サウシテ此出資ニ對スル經濟

利率ハ五分五厘ト致シマシタ、重利ノ結果ドレ程ノ後價ガ舉ルカト云フコトヲ見マス、サウスルト前ニ申上デマシタ國ノ出資八千萬圓ノ後價ハ四十一億五千八百萬圓、市町村ノ出資一億八千萬圓ノ後價ハ四十三億三千四百萬圓ト云フコトニナリマシテ、四十一億ト四十三億、大體五分々々ト云フコトニナルデアリマス、尙ホ委シク申シマスレバ樹種別ニ伐期ガ違ヒマスカラ、長期ニ亙ル計算デゴザイマスカラ、其事ハ餘リ長クナリマスカラ略シマス、尙ホ市町村ノ出資ハ一億八千萬圓トシテ置イテ、現金支出額ハ千五百二十二萬圓トシテアリマス

○齋藤宇一郎君 地代ハドウデス

○石川山林技師 是ハ地代ハ入レテ居リマセヌ、市町村ハ輕微ナル保護ト助成金ヲ出スダケデアリマスガ、其中ニ副産物、或ハ二十箇年末ノ間伐代料ヲ取ルト云フヤウナ事モゴザイマスカラ、ソレヲ計算致シマシテ差引現金ノ出マス所ハ千五百二十二萬圓ト云フコトニナルデアリマス

○齋藤宇一郎君 私ノ問ヒマシタノハ結局一億八千万圓ト云フ計算ノ出ル其元本ノコトニ就テ御尋ヲシタノデアリマシテ、即チ支出金カラ副産物ノ一部落デ間伐ノ時ニ無料ニ貰フ其價格ヲ引イテ残りノ重利計算デ、一億八千萬圓トナルデアリマスカト云フデアリマス

○石川山林技師 此一億八千萬圓ハ毎年出シマスノヲ、百二年マデ加ヘタモノガ、ソレナノデス

○齋藤宇一郎君 毎年間伐代料及副産物ノ價ト云フヤウナモノガ入テ來ルソレヲ引イテアルカト云フデアリマス

○石川山林技師 ソレハ引イテアリマス

○田中政府委員 是ハ委シイ算盤ヲ書イタモノヲ皆サンニ差上ゲルコトニシマセウ

○古林與之君 杉檜ノ植エラレル一町歩ノ地代ハ、百九十二圓デアルト横ラレテ居ルノデスカ

○石川山林技師 左様デアリマス

○金田平兵衛君 副産物ト云フモノハ、當然公共團體ニ讓與スルト云フコトニ決定シテ、案ヲ立テタノデアリマス

○田中政府委員 御尋ノ通りデアリマス

○内山安兵衛君 此造林ニ就テハ苗木等ハ苗圃デモ拵ヘテ、御任立ニナルノデアリマスカ、或ハ其町村デ御買ニナリマスカ

○中井政府委員 苗圃ヲ設ケマシテ、種苗ハ其圃ヨリ供給スル計畫デアリマス

○齋藤宇一郎君 勅令案ノ要領ヲ拜見致シマス、要スルニ國有林委託法ニ據レル權利義務ヲ基礎トシテ、之ヲ立案セラレタヤウデアリマスガ、其中デ一寸文句ノ判ラナイ所

ガアリマスカ、ソレカラ伺ヒマス、第七ノ所ニ「造林計畫ノ後天然ニ生シタル樹木及造林計畫前ヨリ生スル樹木ニシテ造林支障木トシテ伐採セサル樹木ノ歸屬」ソレカラ「造林地ノ樹木ト看做スコト」斯ウ書イテアリマス、是ハドウ云フ意味ニナルノデスカ

○田中政府委員 ソレハ題目ガ長クテ、結論ガ短イカラ、餘程變デスガ前カラ殘ッテ居ル木デスナ、ソレカラ造林シタ後ニ天然ニ生ヘテ來ルノモアル、ソレドウスルカト云フ問題ニナリマス、矢張造林地ノ樹木ト見テ、雙方ノ權利ノモノニスルト云フ譯デス

○齋藤宇一郎君 「支障木トシテ伐採セザル樹木」支障木ナラ伐採シサウナモノデスガ、或ル目的以外ノ樹木ガ生ヘテ來タトカ、或ハ或ル目的以外ノ樹木ガ前カラ存在シテ居ッタ時ニハ造林ノ時ニハ支障木ト云フ名稱ヲ附ケテ伐ラナケレバナラヌ譯デアリマスガ、セザル樹木ト云フノハ、少シ變ダト思ヒマス

○中井政府委員 是ハ御承知ノ通り其造林ノ支障ニナリマセヌ、例ヘバ檜ノ造林ヲ致シマシタ處ニ、一部分他ノ松ガ生ヘマストカ云フ事デ、場合ニ依リマシテハ、其天然ニ生ヘマシタモノヲ殘シテモ差支ナイト云フヤウナ事ガ、御承知ノ通りアリマス場合ヲ想像シテ、サウ云フモノハ矢張造林地ノ樹木ノ中トシテアルデアリマス

○田中政府委員 是ハ書キヤウガ惡イノデセウ

○齋藤宇一郎君 造林ノ支障木デナイト云フ意味デスカ

○中井政府委員 サウデス、マアアッテモ差支ナイト云フ意味デス

○齋藤宇一郎君 新ニ法文ヲ作ル時分ニ、誤解ノナイヤウナ文字ヲ使ッテ戴ケバ判ルノデスカ、一寸書キヤウガ惡イヤウデス、大臣ガ御出席デアリマスカラ、此場合一寸伺ッテ置キタイト思ヒマス、本問題ハ第四十二議會デモ研究サレテ居ッタ問題デアリマス、大體ニ於テ此前提モ贊成シタノデアリマスカラ、細カイ事ノ研究ハ別ト致シマシテ、大體異議無イノデアリマス、然ルニ一度私カラ一體斯ウ云フ事ヲ爲サレルト云フコトハ、要スルニ生活物ノ供給ノ上ニ安定ヲ求メタイト云フ、國策ノ根本ニ觸レテ居ル計畫デアッテ、今日ノ場合デアッタナラバ政府ハ色々ナ方面ニ、相當ノ支出ヲシナケレバナラスカラ、其一部トシテ吾々ハ之ニ同意ヲ表スルノデアアル果シテ然リトスレバ斯ウ云フ事ヲ爲サレルト共ニ、我國ノ本國及版圖ニ在ル所ノ森林ヲ是非農商務省ニ統一シテ、十分ナル根本計畫ヲ立テ、將來永ク吾々ノ衣食住ノ上ニ於テ、必要ナル木材ノ供給ヲ安固ニスルト云フ御考ハ無イカト、斯ウ云フ事ヲ質問致シタノデアリマス、ソレニ對シテ農商務大臣ハソレハ必要ナ事デアッテ、是非將來仕ナケレバナ

ラス事デアアルガ、急速ニハ中、色、ナ事情ガアルカラ出来ナイカモ知レヌト云フ、斯ウ云フ意味ノ御答ガアツコトヲ記憶シテ居リマスシ、又速記録ニ頼シテ見テ居ラナラバ、記憶マスガ、昨今ハ木材ノ供給ニ就テハ國民一般ニ非常ニ憂ヘテ居ルノデアリマシテ、而カモ現在ノ樹木ノ蓄積ヲ見マススト云フト、最も多ク消費スル内地ニハ甚ダ少クシテ、朝鮮、臺灣等ノ方面ニ多クヤルト云フ有様デアリマスガ、之ヲ農商務省ガ統一シテ根本的計畫ヲ立テ、造林及伐採ノ調節ヲ圖シテイカケレバ、甚ダ計畫ガ不十分デアラウト思フノデアアル、之ニ就テハ前議會以來色、御研究ニモ成ラウト思ヒマスガ、此統一ガ最も必要デアルト思フ、其當時モ私ハ申シマシタガ、公有林野ノ統一獎勵ト云フコトヲ圖リ、先ヅ以テ農商務省ガザウ云フ所ヲ統一シテ見セテ、統一ノ結果スルノ如キモノデアルト云フ実績ヲ見セタナラバ、其統一ガ非常ナル民心ノ上ニ於テ好影響ヲ與ヘテ、漸次政府ノ希望スルヤウニ段々ニ纏テ來ルダラウト思フ、此意味ヲ申上テ大臣ノ御答ヲ伺フノデアリマスガ、此實行ト云フコトハ同意デアルケレドモ、急速ニハイカント云フコトデアリマシタガ目下ノ所デアハ如何ナル程度マデ御考ガ進シテ居ルノデアアルカ、ソレデ承リタイト思フノデアリマス

○國務大臣(山本達雄君) 只今御話ノ此山林ノ統一ノ事デアリマスガ、是ハ農商務省トシテハ、随分是ハ久シキ以前カラノ問題デアツテ山林經營ノ如キハ出來ルダケ統一ノ途ヲ圖リタイト云フコトハ、此前ニモ申述ヘテ居ルコトデアリマスガ、併シ此實行ガ中ニ容易ナラヌノデアリマシテ、今日ニ於テハ既ニ朝鮮、臺灣、又内ニ於テハ北海道等色ニ別メニ成テ居ル、ソレデ先ヅサウ云フ事ヲヤリマスル上ニ就テハ、少シ事情ヲ双方ニ於テ明カニスルト云フコトガ大變必要デアリソレデアサウ云フ事ヲ爲スニ就テハ、端緒トシテハ此各別ニ成テ居ル、其森林ノ事務官、技師邊リガ集テ、サウシテ處々ノ利害關係ヲ互ニ知合シテ、サウシテ需給ノ關係、伐採ノ多少時期ナドヲ、大ニ研究シテ見タナラバ、其内ニハ段々希望ノ方ニ近寄テ來テ、統一ヲ圖ルヤウナ機會ニ到ララウト思フ、ソレデ本年ヨリハ取敢ヘズ關係ノ主任事務官ナドヲ一總ニ集メテ、ヤル途ヲ起サウデナイカト云フノデ、先月初メデアツト記憶シテ居ルガ朝鮮、臺灣、關東州、或ハ北海道其他關係方面ノ者ヲ一堂ニ集メマシテ、サウシテ色々山林ノ利用ニ就テ打合ヲ爲シタヤウナ次第デアリマス、是ハ今デハ始メ行ハレテ居ルモノデアリマスガ、先ヅサウ云フ事カラ互ニ利害ヲ研究シテ見タナラバ、終ニハ、是ハ斯ウシタガ宜カラウ、是ハ統一シタガ國家ノ利益デアルト云フコトガ、追々行ハレテ來ル、縦ンパンソコニ急速ニイカクテモ、少クトモ、需要ノアル時ニハドレモ是モ伐採シ盡シテ、ゾレガ遠ニ

供給方ニ追ハレトカ、又ドウモ賣行ガ惡イト云ヘバ、皆手控ヘテ終ニハ下足ヲ想ヘルコトノナイヤウニ、斯ウ云フ風ニ爲シ、伐採、植林等ニ就テモ互ニ相助ケ合テ行ツラ宜カラウト云フヤウナ、會議ヲ始メテ開イタヤウナ譯デ、是ガ前議會ニ於テ御質問ニ御答シマシタル事ヲ、先ヅ手始めトシテ、ソレカラ始メヤウデハ、ナイカト云フノデ、ヤツ次第デアリマス、而シテ一鉢ニ山林ノ統一ニ就キマシテハ、矢張先ヅ其途於テ進ミタイト思フ、ソレデ又公有林野ノ植林ノ事ニ就キマシテモ、矢張問題ニ成テ居ラナラバ、ドウモ免角其時機ガ、來マゼズニ今日マデ延シテ居ラナラバ、ドウモ免角何シロ此處三年ノ間ニ非常ニ木材ノ需要ガ激シクテ、サウシテ伐採ガ盛ニ成テ來テ居ル、之ヲ拾テ置キマスト云フト、ドウモ荒廢スル公有林野ノ多イコトニ成テ參リマスルカラ、一日モ早ク一從前ノ通りデハ宜シクナイ、何處マデモ政府ガ一ツ進シテ導クト云フコトノ急務ナルヲ考ヘマシテ、前議會ニ出シマシタ、又臨時議會デアリマスガ、當局者ガ見マスト云フト、此次ノ議會ヲ待ツ餘裕モナク、茲ニドウカ御協賛ヲ得タイト云フノデ、出シタ次第、大體サウ云フ次第デアリマス

○齋藤宇一郎君 色、計畫ガ進シテ居ルト云フ御説明デアリマスガ、目下ノ森林ノ需用供給ノ關係カラ見マスト云フト、甚タ將來寒心ニ堪ヘナイノデアラシ、私ノ秋田縣ノ如キハ、誰モ非常ニ木材ガ豊富デアルト考ヘテ居ルヤウナ縣ニ於キマシテモ、中モ昨今ノ狀態ヲ見マスト殆ト伐リ盡シテ何モノナイ、唯々僅ニ國有林ニ杉ノ純林ガ殘シテ居ル、山毛櫨ノ純林ガ殘シテ居ルト云フコトニ止シテ居ルヤウデアリマス、彼ノ立派ナ樹林デアアル長木澤森林ノ如キモ、小阪嶺山煙毒ノ爲メニ枯ラサレテ伐ラレツツアル狀態デ、其保存ハ非常ニムツカシヤウデアリマス、從テ此二政府ノ材料ニ依テ吾々知り得タ數字ハ、北海道ヲ加ヘマシタ内地森林ノ蓄積ハ五十五億石ニナツテ居ル、而シテ一箇年ニ伐ル所ノ木ハ一億五千七百萬石宛、内地デ使用シテ伐ルト云フコトデ、之ヲ計算シテ見ルト、三十五年デ無クナルト云フコトデ、僅ニ櫛ノヤウナ早イ成長ノ雜木ノ計算ニシマシテモ、三十五年デ無クナル譯ニナル、而シテ其日本國ニ屬スル所ノ蓄積ハ九十八億六千萬石ニナル、サウシマスト云フト、此六千萬人ト云フ人間ノ所ニハ五十五億方シカナクテ、僅ノ人口ノアル所ニ四十億ト云フ蓄積ガアルト云フ偏頗ナ分布ニナツテ居ル、而カモ内地ノ中デ餘計アルノハ北海道ダラウト思ヒマスガ、其北海道ハ獨立ノ經營ノ下ニ北海道經營ニ托シ伐ルコトニナツテ居リマスレバ、詢ニ需用供給ト云フモノハ不圓滑デアアル、且將來ノ安心ノ出來ヌコトハ、僅ノ數字ヲ見マシテモ明カデアアル、ドウシテモ木材ノ需要供給ヲ豊富

ニシ、圓滿ニシ、百年ノ大計ヲ立テルニハ、是等ノ國有ニ屬スル森林ヲ盡ク一手ニ集メテ、サウシテ、總テノ需用供給經濟上ノ關係マデモ圓滿ニシテ往カナケレバ、此簿利ナル而カモ大切ナ事業ハ中ニ是ハ旨ク往クナイト私共ハ思フノデアリマス、ドウカ云フヤウナ計ノ爲メニハ、地方廳ノ色々不便デアルトカ、何トカ云フヤウナ計ノ顯慮スル所ナク、大計畫ノ下ニ多少ノ犧牲ヲ拂ツテ御纏メニナルヤウニ、私共ハ望ムノデ、サウデナイトチビ、シタコトヲヤウテ居テ、追付カヌト思ヒマスノデ、今回重テ質問シ當局ノ御考ヲ願ヒタイト思フ次第デアリマス

○伊藤廣義君 私モ一寸御尋ラシタイト思フテ居リマスガ今回御提出ニナツテ居リマス所ノ官行造林ノ方法ハ、是ハ確カニ公有林ヲ整理シマスニ最善ノ方法ト云フコトデ御提出ニナツコト、思ヒマスガ、然ルニ我國ニ於キシテ民間トノ關係ヲ著ケマスニハ、是迄ハ多クハ半官半民共同ノ事業計畫ガ善イヤウニ思フノデアリマスガ、提出ノ案ハ全然官營業トシテ森林官ヲ設定シテ、森林官ノミニ依テ公有林ノ經營ヲサシメルト云フコトハ、一ノ方法ニハ違ヒゴザイマセヌガ、此内外ニ或ハ公有林ニ對シマシテ、政府ハ豫メ開墾助成法ノ如ク、一面ニ於テ町村ニ對シテ適當ナル所ノ保護ヲ與ヘ、サウシテ監督、或ハ經營ノ方法ニ於キマシテハ、無論專門家森林官ト云フモノハ、所謂政府ニ於テ監督指導、或ハ成案トシテ立案サレマシテ、經營ヲスルト云フコトハ、是ハ當然デゴザイマスガ、兎ニ角ニ盡ク之ヲ官營ニナサナケレバナラヌ、斯ウ云フヤウナ事情ガドウ云フ所ニ存在シテ居ルノデアリマセウカ、聞ク所ニ依レバ獨逸邊ノ方面デアハ、政府ニ於テ適當ナル保護政策ヲ立テ、サウシテ監督或ハ指導ト云フ方ノ側ハ、政府ニ於テ行ツテ居ルト云フ方法ハ、寧ろ成績ガ良イト云フコトモ聞イテ居リマス次第デアリマスガ、今回特ニ公有林ニ對シテ官行造林ヲ元トシタコトハ、何カ此外ニ適當ナ方法ガナクテ、之ヲ最善方法トシテ御計畫ナサレタコト、思ヒマスガ、ソレ等ニ對シテ絕對是ハ最善デアルト云フ事柄ニ就テノ御趣旨ヲ、併セテ承ハリタイト思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツ只今此齋藤君カラモ北海道ノ森林ト云フコトニ就テ御話ガゴザイマシタガ、私ハ北海道デアリマスノデ、北海道ニハ町村ニ於テ公有林ト云フモノヲ未ダ交付シテ居ラヌ、ソレデ北海道ノ町村ダケガ將來共政府ハ公有林ヲ交付スル御設計ガ無イカ、ドウカト云フコトヲ承リタイノデアリマス、尤モ今北海道ノ公有林ハ內務省所管ニナツテ居リマスノデ、或ハ農商務省ノ御關係ノ無イコトカ知リマセヌガ、大體公有林問題ヲ論ズルニ當リマシテ、矢張北海道モ同ジク今日ニ於キマシテ、同一ノ制度ヲ布カレテ居リマスカラ、同ジク北海道廳デモ公有林ヲ

得ルコトハ必要デアリマスシ、又町村ノ上カラ見テ、ドウシテモ是ハナケレバナラヌモノト考ヘマスカラ、是等ニ對シテ政府ノ御趣旨ノアル所ヲ、承リタイト思フデアリマス

○國務大臣(山本達雄君) 第一ノ方ニ就キマシテハ、御承知ノ如ク政府ニ於キマシテハ、一體森林經營法ニ依リマシテ、ソレノ年度割ニ於テ輪伐ノ法、植林ノ法ヲ以テヤツテ往カナケレバナラス、此方ハ先ヅ完全ナリト云フ斷言ハ出來

マセヌガ先ヅ相當ニ完備シテ遺憾ナクヤツテ居ル積リデアリマス、唯ダ此公有林野ニ至リマシテハ、即チ公共的經營ニ屬スルモノデアリマスカラシテ、ドウモ免角伐採ノ方ガ勝テ、後トヲ植林ヲシ、又此處ハ今ハ利益ガ無クテモ、將來利益ガアルト云フコトニ至リマスト、ドウモ思フヤウニ參リマセヌ、始終

伐採ヲシマス者ト、植林シマス者トガ一致シテ、之ヲ養成シテ行クト云フコトガ出來マセヌ、ソコデアリマスカラ是迄ノ如ク公有林野トシテ、公共團體ニ任セテ拾テ、願ミマセヌト云フト、森林ノ植林ノ經營ノ上ニ於キマシテモ、又國土ノ

保安ノ上ニ於キマシテモ、遺憾ナ點ガ一番多イノデ、ソコデアリマス先ヅ政府ニ於テ此處ニハ植林シタラ宜カラウ、或ハ此處ニハ國土保安ノ爲メニ斯ウシタラ宜カラウト云フ如キ事ガ起

リマスレバ、其所ノ公共團體ト相談シマシテ、サウシテ政府ノ方デヤル、其代リ他日利益ガアレバ分收スルト云フ如キモノニ就キマシテ、政府カラ干涉ハ致シマセヌガ、此法ヲ以テ相談シテ來テ、公共團體ニ於テ大ニ進ンデスル氣ニナル

道ガ起ルダラウト思ヒマス、實ハ案ヲ立ル前ニ内務省地方長官ナドニ就テドウデアアル、若シ政府ガ斯ウ云フ法ヲ拵ヘマシテモ、公共團體ニ於テ望マナケレバ出來ナイ、色々打合せ

テ見テ居ルコトニ相成リマシタ、ソコデ公共團體ノ手ニ委望ンデ居ルコトニ相成リマシタ、利益ハ分收スル、斯ウ云フコトニナツデアリマス、北海道ノ方ノ公有林野ノ出來マ

セヌコトニ就キマシテハ、今丁度御尋ノアリマシタ如ク、全ク内務省ノ管轄ニナツテ居リマス林野ノコトデアリマスカラ、農商務省ニ於テモ關係ノアル筈デアリマスガ、全ク關係ガ別ニ

ナツテ居リマス、其故ニ將來ガドウト云フコトハ、一寸御答仕カネマス

○委員長(中倉万次郎君) モウ大分御質問モアリマシタカラ、質問ハ今日終了シタイト思ヒマス、時間モ切迫シマシタケレドモ少シ

○伊藤廣幾君 北海道廳長官ニ林野ノ問題ニ就テ質問シタイ
○委員長(中倉万次郎君) ソレデハシレダケハ保留シテ、大體ハ終了シタコトニシテ、御異議アリマセヌカ
(「宜シウゴザイマス」ト呼フ者アリ)

○委員長(中倉万次郎君) ソレデハ質問ハ是デ大體ハ終了ト云フコトニ致シマス、明日午後一時カラ開キマス、其際ニ北海道廳長官ノ出席ヲ求メテ、伊藤サンノ御質問ニナルダケ保留致シマス—明日日本會ガアレバ明日、ナケレバ明日開クコト、致シテ、何レ公報デ御通知致シマス、今日ハ是デ散會致シマス
午前十一時五十六分散會